

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3415回例会 (令和6年2月28日・水)

今週のプログラム

2月28日(水) ゲストスピーチ
「台湾と日本を繋ぐ蔵『台雲酒造』」
台雲酒造合同会社 代表社員
松江観光大使、出雲観光大使
遣島使(島根県PR大使) ちん いにん
陳 韋仁氏

次週のプログラム

3月6日(水) ゲストスピーチ
「ガイナレ鳥取の歩み」
株式会社SC鳥取 代表取締役社長 つかの まさき
塚野 真樹氏

・・・結婚月・・・

白根 澄男会員 3日

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
3月1日(金)	米 子	ANAクラウンプラザホテル1F
3月5日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
3月8日(金)	出 雲 南	出雲ロイヤルホテル内事務局
3月18日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
3月19日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
3月21日(木)	松 江 東	ホテル一畑
3月29日(金)	米 子	ANAクラウンプラザホテル1F

2024年3月の予定 (★衛星クラブ含む)

3月6日(水) 定例理事会
3月10日(日) Intercity Meeting
ホスト：江津RC
会 議：江津市総合市民センター
(ミルキーウェイホール)
懇親会：江津ひと・まちプラザ
(パレットごうつ)
※ 3月20日(水) 祝日 例会なし

第3414回例会記録

令和6年2月7日(水・雨時々曇り)

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%) (出席免除会員含む)	前々回補正(%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	65	43 (リアル37 オンライン6)	22	75.44	74.19

メーキャップ：天野、角戸、佐藤勝、長谷川(松江南)、永通(松江東)、錦織(松江しんじ湖)、小村(衛星)

会 務 報 告

原田光明副会長

- ゲストスピーカー紹介
一般社団法人 Expe 代表理事 ひろせ とおる
広瀬 徹様
- 米山奨学生 李 展雲さん紹介
奨学金お渡し
- 衛星クラブ 2名出席

目次真司副幹事

- 本日、米山寄付の確定申告用の寄付金領収証をお渡ししました。
再発行はできませんので、なくさないようお願い致します。
- ポリオプラスソサエティのご案内を配付
第2690地区の活動の一つで、一人100ドル以上を毎年寄付する約束をして頂くと登録証とピンバッジが贈られます。
3月31日まで申し込み受付
なお、2月1日現在のロータリーレートは147円
ポリオ根絶活動にご協力をお願いします。
- 2月14日(水)、21日(水) は休会
- 本日例会終了後、定例理事会開催

委 員 会 報 告

- 親睦・出席委員会 友塚順子委員長
出席報告

プ ロ グ ラ ム

「観光を中心とした、地域づくり」
一般社団法人 Expe 代表理事 ひろせ とおる
広瀬 徹氏



ニコニコ箱

27,000 円

※ゲストスピーカー 広瀬徹様より謝礼をニコニコ箱へ頂きました。

景山、永通（広瀬様のスピーチに。）

木村（広瀬先輩のスピーチを楽しみにしておりましたが、出張のため失礼いたします。松江の地域経済の起爆剤としての取り組みを応援しております。）

谷口正（広瀬さん、お待ちしておりました。スピーチよろしくお願い致します。その後はぜひご入会を!!）

錦織（広瀬さんのスピーチに。ただ残念ながら途中所用で失礼します。益々のご活躍をお祈りします。）

目次（特殊サギ標語は2/11の山陰中央新報で発表しますのでお楽しみに!）

信太、今井（出席100%賞）

谷口正、天野、山田（誕生日）

谷口博、川上（結婚月）

福田（入会月）

ベストメッセージ賞：該当者なし
司会 棚橋学会場監督

【2月理事会報告】

承認事項

- ・IMの件 登録37名、参加8名
松江東RCが貸し切りバス担当
 - ・「四つのテスト碑」の北公園管理期間終了および継続利用の件（10年ごと）
松江4クラブ合同事業のため4クラブで継続利用が決定したら手続きを進めさせて頂きたい
 - ・2024-25年度 地区補助金申請の件
「国宝松江城魅力アップ大作戦」
9月29日（日）松江城床磨きと興雲閣での講演
- ### 連絡事項
- ・職場訪問日程の件

ひとこと
随想

新米国事情



かっ べ 晋

新型コロナウイルス感染症が5類になりやっと3年半ばかりパンデミックも終息したように感じられる。当初より症状は軽くなったもののまだ完全にはなくなっていないのが現状である。歴史を振り返るとこのようなパンデミックの前後には世界全体に大きな出来事が起こっている。100年前のスペイン風邪は第一次世界大戦中に起きて今回の新型コロナウイルス感染症のパンデミックではロシアによるウクライナへの侵攻を挙げる人も多いと思うが筆者はAIを利用したチャットGPT（生成AI）を挙げたい。生成AIはその登場以来すさまじい勢いで世界中に浸透しさまざまな分野でその利用について研究開発がすすめられている。

生成AIに代表されるAIの今後の動きはほとんど新産業革命と言っても良いほどのインパクトを社会に与えてきているとも言われている。(株)日本アイ・ビー・エムの橋本孝之氏はAIによる革新は頭脳の置き換えになる。高度な技術者、高度の専門職の仕事が奪われ新しい仕事が創出されると経済界では言われているという。それに対応するには、社会にどのような課題があるかを見つける能力、AIを活用できるスキルなどを身につける必要があると指摘している。

医療分野においては医療を情報工学が牽引する時代に入ってきている。欧米では医学部トップクラスは情報工学も視野に入れる必要性があるとされてきている。2022年EUが発足させた「欧州保健データスペース」も健康データの活用という視点に立っている。日本では最近東京医科歯科大学と東京工業大学の合併の動きが出てきた。そし

て東京医科歯科大学のデータ科学センター長の宮野悟教授は医療データビジネスの国内先駆者を目指すと話している。日本は科学技術と基礎研究においてこの30年で大きく遅れを取ってきたといわれている。

今まで述べてきたことについて筆者の姪の夫であるT氏はソフトウェアアーキテクチャ（例えると家の基礎部分を担当する仕事）としてIT関係の特許を4つ持っていて現在シアトルに在住しているがつい最近TV通話で話を聞く機会が持てた。現在の彼の仕事は次世代プラットフォームの作成に必要なソフトを開発するチームのリーダーとして働いているとのことであった。医療に関してはビッグデータを活用したDNAの解析とか創薬をより早く作り出すことを目指しているとのことである。生成AIなどはそのプラットフォームの上を走っている形になるとのことであった。いわばソフトウェアの世界で非常に基礎的な仕事をしていることになる。そして彼からは日本の若い人はどんどん外国に行きそうした研究に取り組む必要があり又政府はそうした人にしっかりした経済的サポートをする必要があるとの貴重な提言を頂いた。最後になるが数年前に聞いた講演で当時(株)日本アイ・ビー・エム名譽相談役であった前出の橋本孝之氏はこれからの日本人は勇気を持って挑戦する必要性があり今までの価値観の考え方は捨てて変わることが最も重要であるとして話を結んだ。

若い人々の今後の挑戦に期待するものである。

(呼吸器科医)